



学校便り 琢磨

第43号 R3.2.12 三豊市立詫間小学校

新HP <https://mitoyo.schoolweb.ne.jp/mitoyo/takuma-e/>

児童会の引継ぎ式がありました！

2月8日（月）の5時間目。Zoomを使って「児童会役員の任命式（引継ぎ）」がありました。

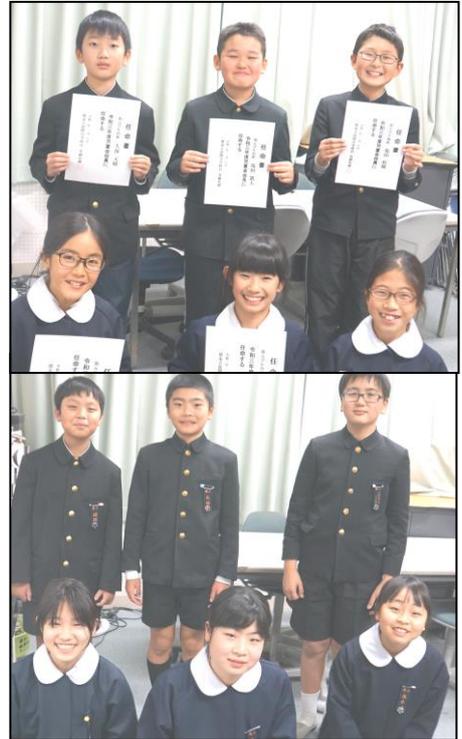
新児童会役員に選ばれたのは以下の皆さんです。

- 新会長 5年松組 塩田 凱大 さん
- 新役員 5年松組 久保 天晴 さん
- 5年松組 渋谷 真央 さん
- 5年竹組 松村みそら さん
- 5年梅組 塩田 拓陽 さん
- 5年梅組 伊瀬未那美 さん

新しい詫間小学校のリーダーとしてがんばってください。期待していますよ。皆さんなら大丈夫です。

また、6年生の旧役員の皆さん。1年間、ありがとうございました。この1年は、コロナ禍の中で、十分な活動をさせてあげることができませんでしたが、皆さんは工夫して、あいさつ運動や、「心の玉手箱」のお昼の放送、Zoomでの「なかよし集会」、募金活動などに取り組んでくださいました。

本当にありがとうございました。ご苦労様でした。



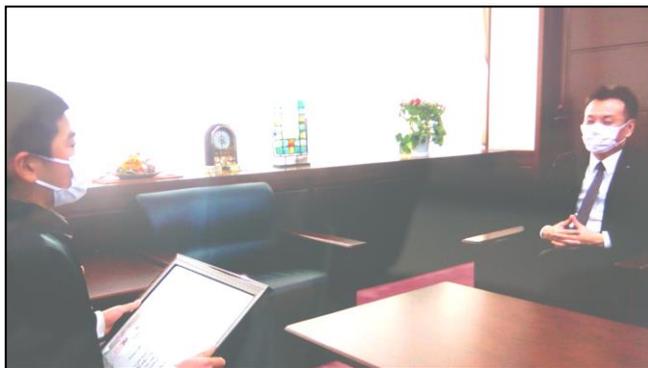
市長表敬訪問

2月10日（水）。6年生の児童会長の馬場さんと私は、詫間小学校が、「交通安全優良学校」の全国表彰を受賞したことを、三豊市の山下市長に報告するため市役所を訪れました。この席には、三好教育長も同席しました。

馬場児童会長が受賞の報告をし、全日本交通安全協会会長からいただいた賞状と記念の楯を、山下市長にお見せしました。

山下市長からは、「これは、すごいことだよ。これからも交通安全に気をつけてください。」とのお言葉をいただきました。

当日は、三豊ケーブルテレビも取材に来ており、馬場児童会長は、市長への報告の後、取材を受けました。この様子は、三豊市のホームページに掲載されます。また、ケーブルテレビでは、来週の月曜日か火曜日に放送されるということです。



ギターの話

皆さんは、ギターという楽器を知っていますか？きっと見たことはあると思います。糸のようなもの（弦：げん）を指やつめ、プラスチックの板（ピック）ではじいて音を出す楽器です。弦は、長いと低い音を出しますし、逆に短いと高い音が出ます。普通は左手で弦を押さえて、その位置の違いで、音が高くなったり低くなったりします。また、弦は太さの違うものが4本、6本、12本とかあって、太いと低い音、細いと高い音が出ますので、弦の太さと押さえる位置の組み合わせで、いろいろな音が一度に出せる楽器なのです。

ギターにもいろいろな種類があります。木の箱のようにになっている部分で音を大きくして出すギターや、電気で音を大きくして出すギターがあります。木の箱のようにになっている部分で音を大きくして出すギターにも、フォークギターやクラシックギターなどがあります。フォークギターは、弦が全部金属でできていて、イメージですが「ジャン」という音が出ます。一方フォークギターの弦は、ナイロンでできていて、こちらもイメージですが、「ポロロン」という音が出ます。フォークギターは、主に伴奏をするときに使い、クラシックギターは、伴奏と旋律を一緒に弾くときに使います。

さて、私は小学校5年生の時にギターと出あうこととなります。きっかけは、両親がテレビで映画の『禁じられた遊び』というのを観たことです。映画の内容もさることながら、その映画の主題歌が、ギターの音色だけなのですが非常に美しく（名奏者ナルシソ・イエペスという方が弾いていた）、いたく感動した両親は、こう話したそうです。

「ええ曲やな。そうや、息子にギターを習わせよう。そうしたら、いつでもこの曲を聞くことができるからな。」

「そうですね、そうしましょう。」

ということで、両親はさっそく楽器屋さんでギターを注文したのです。この時代、インターネットはもちろん、CDなどありませんでした。100軒に1軒くらいは、家に、レコードを聞くことができる機械があったかもしれませんが、聞きたい曲があっても、一般家庭では、テレビやラジオで放送されるのを待つしかなかった時代なのです。

しかし、まちがいはここからスタートしました。両親が私の意思に関係なく買い与えたのは、フォークギターの方だったのです。当時は、フォークブームの始まりで、南こうせつ、アリス、松山千春、さだまさし、イルカなどのシンガーソングライター（自分で曲を作って自分で歌う人…きっと皆さんは知らないでしょうから、お父さんやお母さん、もしかしたらおじいさんやおばあさんに聞いてください。）がどんどん人気を高めていた時代でした。「ギターが弾ける（持っている）＝カッコいい」という時代でした。

当然、私が夢中になっていったのは、クラシックではなく、フォークの世界でした。中学や高校になると、バンドを組んで勝手にコンサートをしたり、勉強もせず貸しスタジオで仲間と練習したりの日々でした。本気でシンガーソングライターになりたいと思っていました。両親からは、

「この不良が！いいかげんにせんと、ギターを捨てるぞ！」

と叱られました。高校を卒業する少し前まで、私はギターに夢中でした。

いつの間にか、ギターは弾かなくなってしまいました。その時のギターは、押し入れの中にさびついた弦が張られたままあります。ただ、『禁じられた遊び』の主題歌だけは、独学（誰にも習わないで自分で学ぶ）で弾けるようになりました。ギターを弾くのも大変で、弦を押さえる左手の指は、すぐに痛くなります。それをがまんして練習していくと、指の先が固くなって、痛くなくなります。皆さんが、鉛筆を持つ指にタコができるのと同じです。1年くらい前、人のギターを借りて弾いてみましたが、何十年も経っているのでもうまくは弾けません。でも、ギターの音色はステキです。違った音がバーモニーとなって出てくるところが何ともいえません。機会があれば、皆さんの前で、あまり上手ではありませんが演奏してみたいと思っています。そんな日が来ればいいですね。

